

令和8年度 太平小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：22016

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

実態	「学ぶ力」	
	成 果	課 題
	◇前年度まで、国語・算数・道徳・体育の4部会を設置し、課題探究的な学習の充実に努めてきた。 ◇算数科を中心に、全校一斉計算テストや習熟度別学習を実施するなど、「知識・技能」を育む指導を充実することができた。 ◇出前授業やブロックの枠を越えた学習計画作成など、子どもたちがより学びやすい環境を整えることができた。	◇授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えることができる子が少ない。(全国学力・学習状況調査より) ◇学級や学年の友達と話し合うことで、自身の考えが深まっていると実感している子が少ない。(全国学力・学習状況調査より) ◇与えられた課題に対しては真剣に取り組むが、自分から課題を見付けたり、学習に対して調整したりする力が弱い。
	「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題	
	◇「令和8年度札幌市学校教育」で打ち出されているように、相互承認の感度は子ども一人一人の主体性を大切にした多様な学びの中で、協働を通して磨かれていく。そのため、本校では「主体」と「協働」をテーマ（下記研究主題参照）に授業づくりを進めていく。本校の現状と課題としては、明るく素直な子が多い反面、自ら動き出すことに抵抗を感じる子が多いことと基本的な知識・技能が身に付いていない子が多いことの2点が挙げられる。	
「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力 ・課題を自分事として捉え、見通しをもつ力（A1） ・課題解決へ向けて自己選択や自己決定をし、対話によって思考を再構築する力（A2） ・自らの成長や学びの進捗を自覚する力（R）		
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
	①研究主題「主体的に学び、協働を通して磨き合う子の育成」 今年度より校内研究部会を「A1グループ」「A2グループ」「Rグループ」に分けて、授業検討を行っていく。 ②日々の研修の充実 マツト・跳び箱研修や部会での日々の授業相談など、先生方のニーズに合わせた研修を行っていく。 ③基礎基本の充実 年2回計算テストの実施をしたり、朝活動の時間に朝学習や朝読書を設定したりすることで、四則計算や読み書きなど基礎基本に触れる時間を確保していく。	①高学年を中心とした委員会活動の充実 ・活動内容を精選し、実現可能な学校づくりに取り組む ・R-PDCAサイクルを意識した活動計画 ②『はるにれサミット』（4～6年生）を核とした縦割り活動（はるにれ活動）の充実 ・『はるにれ活動』を通して、全校を動かす経験を積み重ねていく。 ③児童会と生徒会が連携した「あいさつ運動」の実施 ・小中連携して、地域に「あいさつの輪」を広めていく活動に取り組む。
	「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について	
◇パワーポイントを使った授業導入 ◇クロムブックを活用した基礎基本の充実 ◇クロムブックを活用した相互承認の充実		

<本プログラムの実行に向けて>

新年度 ◇本プログラム共有 ・職員会議(4月25日) ・学校HP、すぐるでの発信 ・パートナー部会、研究集会	【一人一人の教職員】 ◇日常の授業実践・教育活動 ◇各自の研修：札教研、年次研修 ◇教職研修、動画視聴による自己研鑽	【学校全体】 ◇実践交流及び校内研修 ・3部会による実践交流 ◇子どもの育ちを学年研修や学年主任会で共有 ◇パートナー3校合同研修会	次年度へ ◇学校評価(年2回実施) ◇成果と課題の共有 ・研究全体会(3月予定)
---	---	---	--